

北見市の国保をよくする会主催

国保と社会保障を 考える 講演会

都道府県化で国保はどうなる？
日本の社会保障制度をよくするためには？

2018年10月28日(日) 15:00~17:00

北見市民会館 小ホール(北見市常盤町2丁目1-10)

資料代:300円

今、日本の格差と貧困が大きな社会問題となるなかで、その防波堤となるべき社会保障制度が揺らいでいます。高すぎる保険料や医療費に多くの住民が苦しみ、「命と健康を守る」国民皆保険制度の役割が問われています。

しかし政府は、社会保障の予算を削減し、来年秋には消費税増税を実施しようとしています。今年4月から実施された国保の都道府県化の影響とあわせて、国保と社会保障のあり方と展望を学ぶ講演会を開催します。



「国民健康保険と 社会保障制度のゆくえ」

講師:長友薫輝さん(三重短期大学教授)

【講師プロフィール】

宮崎県生まれ。龍谷大学を卒業後、三重短期大学生活科学科教授。地域医療・福祉に関わる調査研究をおこない、国保問題の第一人者として知られる。自治体問題研究所理事、三重県社会福祉審議会委員等を務める。「新しい国保のしくみと財政 都道府県単位化で何が変わるか」「市町村から国保は消えないー都道府県単位化とは何か」など著書多数。

お問い合わせ 北見市の国保をよくする会
(事務局:北見市大町62-3 北見民主商工会内 TEL:0157-23-8597)